

病理学概論

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授		
担当講座・学科(分野)	病理学講座機能病態学分野		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

病理学は、生理状態の各臓器の構造・機能に係る知識を基に、病的状態での臓器の変化、原因、経過、転機あるいは死因を分析する学問である。疾病の病態生理を理解するために形態観察に加えて分子レベルでの機能や構造の異常と、個体への影響に関する知識を学修する。疾病を主に病因論、先天異常・奇形、炎症、代謝異常、循環障害、腫瘍に分けて、全身の各臓器に共通する病的変化についての理解を深め、疾病の成り立ちについて基本的な知識を修得する。

・教育成果（アウトカム）

人体を構成する各臓器の正常構造と生理機能を基に、病的状態での臓器の肉眼的、細胞学的形態変化を学修する作業を通じて、疾病の病態生理を理解する基礎的知識が形成される。さらに分子レベルでの機能異常を学修することで、疾病の原因から最新の分子標的治療を含む医療を理解する上で、看護に必要な病理学の重要性を認識できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3

・到達目標（SBO）

1. 看護に必要な人体の構造と機能について説明できる。
2. 看護に必要な病態について説明できる。
3. 看護に必要な人体の防御システムについて説明できる。
4. 主要な疾病の病状、病因、病態、治療、予後について説明できる。
5. 疾病がもたらす機能障害について説明できる。
6. 看護に必要な栄養と代謝について説明できる。

・ 授業日程
【講義】

(矢) 西 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/16	水	4	病理学講座 機能病態学分野	佐藤 孝 教授	<p>病理学を学ぶことの意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病の原因とその成り立ちについて学び、医学・医療における病理学の果たす役割を説明することができるようになる <p>【事前学習】 教科書 3～6 ページを読んで医療における病理学の役割についてまとめておく。</p> <p>【事後学習】 病理診断、病理解剖の意義についてまとめる。</p>
9/30	水	4	病理学講座 機能病態学分野	佐藤 孝 教授	<p>先天異常と奇形について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先天異常について学び、先天異常の原因を挙げることができるようになる ・ 奇形の定義や奇形成立の臨界期を説明できるようになる ・ 奇形発生の原因やその種類について説明することができるようになる <p>【事前学習】 教科書 116～134 を読んで先天異常と奇形についてまとめておく。</p> <p>【事後学習】 常染色体異常、性染色体異常についてまとめる。催奇形因子、奇形の種類についてまとめる。</p>
10/21	水	4	病理学講座 機能病態学分野	佐藤 孝 教授	<p>糖代謝異常症、脂質代謝異常症について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病について学び、原因と種類、その病態や合併症について説明することができるようになる ・ 脂質代謝異常症について学び、その病態や合併症を説明することができるようになる <p>【事前学習】 教科書 94～100 ページ を読んで糖尿病と脂質代謝異常についてまとめておく。</p> <p>【事後学習】 糖尿病、脂質代謝異常症の合併症についてまとめる。</p>

10/28	水	4	病理学講座 機能病態学分野	佐藤 孝 教授	<p>核酸代謝異常症、色素代謝異常症について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核酸代謝について学び、高尿酸血症の分類、痛風の合併症を挙げることができるようになる ・ビリルビン代謝について学び、黄疸の分類を挙げることができるようになる <p>【事前学習】 教科書 101～104 ページ を読んで痛風と黄疸についてまとめておく。</p> <p>【事後学習】 痛風の合併症、黄疸の分類についてまとめておく。</p>
11/18	水	4	病理学講座 機能病態学分野	阿保 亜紀子 特任講師	<p>炎症 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症の原因、経過、転帰について学び、炎症の 4 徴候を挙げることができるようになる ・炎症に関わる細胞や炎症メディエーターを挙げることができるようになる ・特殊性炎症について説明することができるようになる <p>【事前学習】 教科書 50～61 ページ を読んで炎症についてまとめておく。</p> <p>【事後学習】 炎症の 4 徴候、炎症の種類、炎症に関わる細胞や炎症メディエーターについてまとめる。</p>
12/2	水	4	病理学講座 機能病態学分野	阿保 亜紀子 特任講師	<p>アレルギー疾患、自己免疫疾患について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーについて学び、その種類と疾患を挙げることができるようになる ・自己免疫について学習し、自己免疫疾患を挙げることができるようになる <p>【事前学習】 教科書 61～69 ページ を読んでアレルギー疾患、自己免疫疾患についてまとめておく。</p> <p>【事後学習】 アレルギー疾患、自己免疫疾患の種類についてまとめる。</p>

12/16	水	4	病理学講座 機能病態学分野	及川 浩樹 講師	<p>循環障害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環障害について学び、その種類(浮腫、充血、うっ血、出血、血栓症、塞栓症)を挙げることができるようになる ・虚血、梗塞について説明できるようになる ・側副循環による障害を説明できるようになる ・ショックの種類を挙げることができるようになる ・播種性血管内凝固症候群の病態を説明できるようになる <p>【事前学習】 教科書 28～48 ページ を読んで循環障害についてまとめておく。</p> <p>【事後学習】 循環障害の病態についてまとめる。</p>
1/6	水	4	病理学講座 機能病態学分野	佐藤 孝 教授	<p>腫瘍について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍について学び、腫瘍の定義を説明できるようになる ・腫瘍の種類を挙げることができるようになる ・良性、悪性腫瘍の違いを説明できるようになる ・腫瘍の発生機序を説明できるようになる ・悪性腫瘍の転移、再発形式を挙げることができるようになる ・腫瘍マーカーの種類を挙げることができるようになる <p>【事前学習】 教科書 136～166 ページ を読んで腫瘍についてまとめておく。</p> <p>【事後学習】 良性、悪性腫瘍の違い、上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍の違いについてまとめる。 腫瘍の発生にかかわる遺伝子異常についてまとめる。 腫瘍マーカーについてまとめる。</p> <p>まとめ これまでの講義全般について、演習問題を提示し、discussion を行いながら演習問題を解き疾病の成り立ちについて基本的な知識を整理する。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 病理学 第5版	大橋健一 他	医学書院	2019

・成績評価方法

定期試験(多肢選択客観試験) 90点、質問や受講態度の評価 10点にて総合的に評価する。
なお、講義の一環として行われる小テスト等の成績も判定材料に加える。
講義への出席が規定の出席数に達しない場合は、定期試験の受験資格を喪失する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて事前学習、事後学習を行うこと。全ての授業に該当するものであり、各授業に対する事前学習時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

講義時間中に小テストを行った場合には、自己採点后、問題解説を行い知識の整理に役立てる。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影